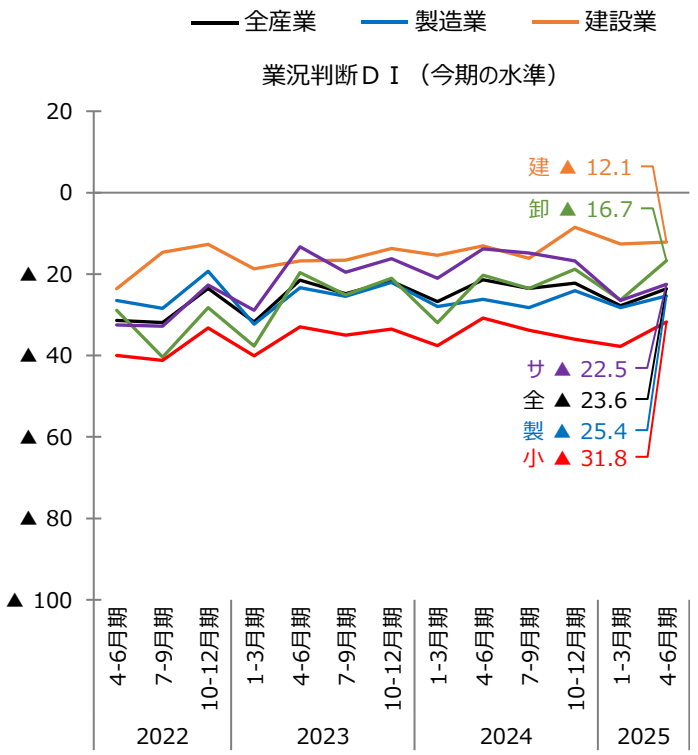
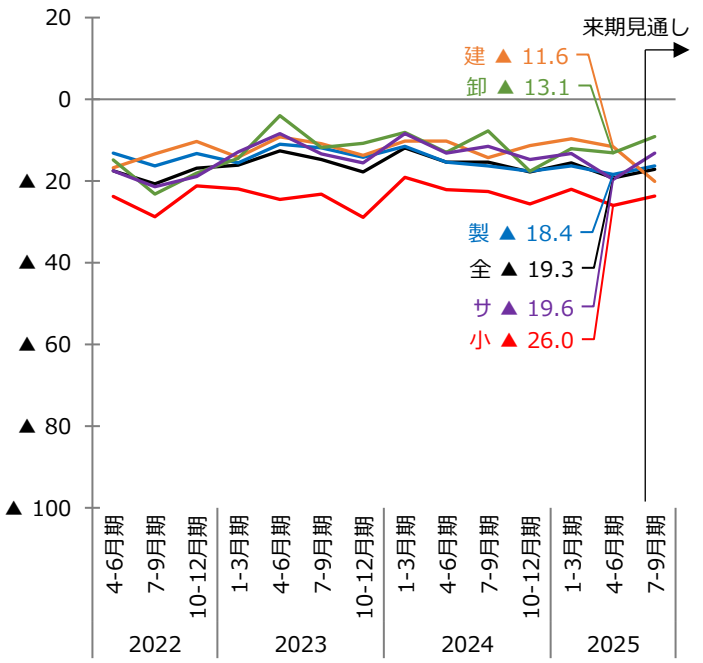
第180回　中小企業景況調査（2025年4-6月期）　近畿

1．業況感

近畿地域の中小企業の業況判断DI（今期の水準）は、全産業で前期（2025年1-３月期）より4.2ポイント増の▲23.6と2期ぶりに上昇した。産業別にみると、5産業すべてで上昇した。



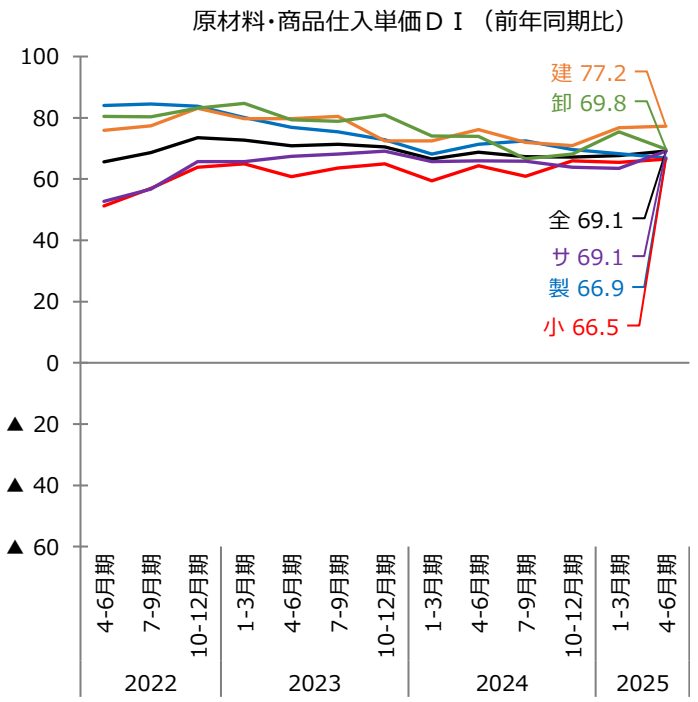
※今期の業況について「良い」「ふつう」「悪い」で質問



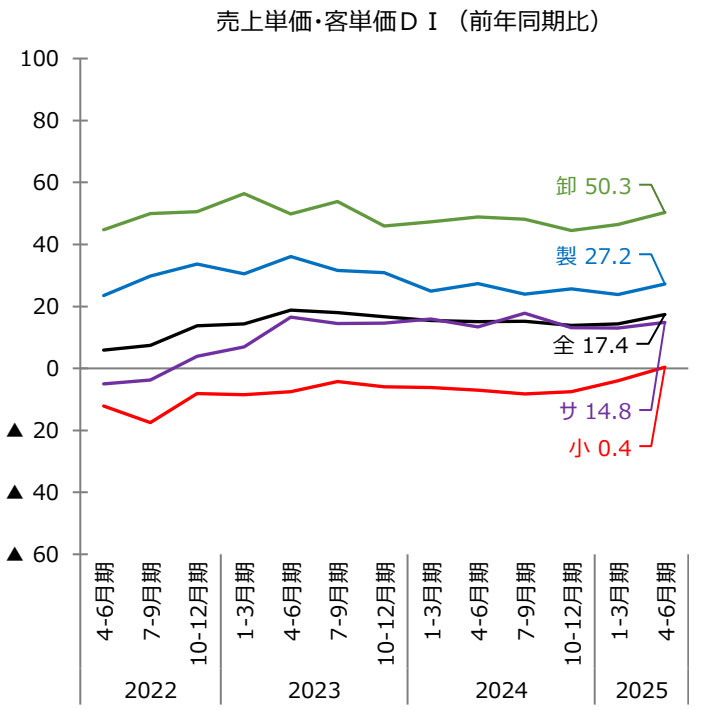
※前期（2025年1-3月期）と比べて、「好転」「不変」「悪化」で質問

2．仕入単価・販売単価

原材料・商品仕入単価DIは、全産業で前期より1.4ポイント増の69.1と2期連続して上昇した。産業別にみると、サービス業、小売業、建設業で上昇し、卸売業、製造業で低下した。また、売上単価・客単価DIは、全産業で前期より3.1ポイント増の17.4と2期連続して上昇した。産業別にみると、4業種すべてで上昇した。



※前年同期（2024年4-6月期）と比べて「上昇」「不変」「低下」で質問



※前年同期（2024年4-6月期）と比べて「上昇」「不変」「低下」で質問

＜調査概要＞　調査時点は2025年6月1日、調査対象は中小企業基本法に定義する全国の中小企業

今期の調査対象企業数：18,841　有効回答企業数：17,899　有効回答率：95.0%　うち、近畿：2,481企業

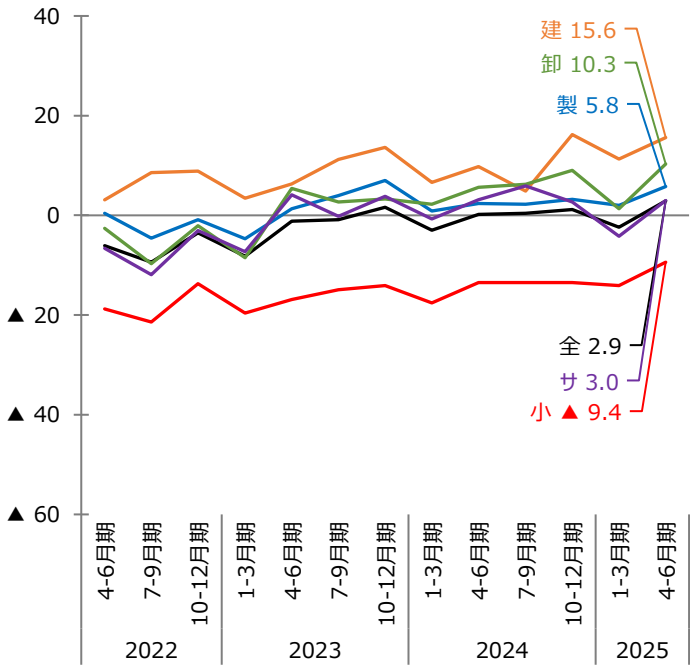
※本資料の集計対象の都道府県は、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県です。

第180回　中小企業景況調査（2025年4-6月期）　近畿

３．採算

採算DIは、全産業で前期より5.3ポイント増の2.9と2期ぶりにマイナスからプラスに転じた。産業別にみると、5産業すべてで上昇した。

採算ＤＩ（今期の水準）

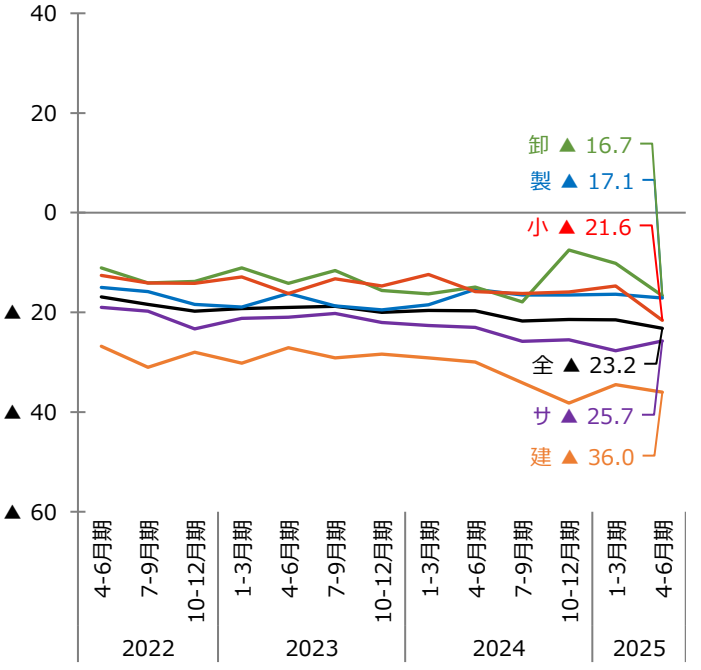


※今期の採算について「黒字」「収支トントン」「赤字」で質問

４．　従業員過不足

従業員過不足DIは、全産業で前期より1.7ポイント減の▲23.2と2期連続して低下した。産業別にみると、サービス業で上昇し、小売業、卸売業、建設業、製造業で低下した。

従業員過不足ＤＩ（今期の水準）



※今期の従業員について「過剰」「適正」「不足」で質問

５．近畿の中小企業の声

	業況判断の背景	業種	
現状	顧客の低迷により業況は悪い。昨今の自動車業界の急変には苦しんでいる。材料・電気他製造コストの上昇が拍車をかけ、コロナ渦よりも厳しい状況。一方、引き合いは活発にて投資を制御しながら新規導入に注力している。	製造業	自動車部分品・附属品製造業
	建築確認申請の厳格化に伴い新築需要が停滞気味である。技術を必要とするリフォーム工事需要は堅調であるが、技術者、職人の確保が追いつかず、供給が間に合わない状態のため、複数の工事の対応が課題になっている。	建設業	一般土木建築工事業
	小口（多数）納入先の小売店への来客がますます減少している。主力の眼鏡フレームの受注が減少（納入先の小売店で売れていない）。仕入れ単価が上昇し続け、販売先に転嫁すると受注が減少する。発注後の納期が長く欠品が長期化している。	卸売業	計量器・理化学機械器具・光学機械器具等卸売業
	大阪・関西万博及びインバウンドの動向が大きいと感じている。商店街エリアも含め売上・来街者数が観光地化していると感じており、良い面もあればマイナス面もあり複雑。	小売業	豆腐・かまぼこ等加工食品小売業
	物価高騰の為、価格転嫁したが、客数減になっている。今の景気では保険診療適用外のマッサージ店は経営が非常に難しい。これ以上売上を下げないために一旦価格を戻し（客単価を下げ）客数アップを目指していく。	ｻｰﾋﾞｽ業	リラクゼーション業（手技を用いるもの）
見通し	関税懸念に連動し、客先各社「様子見」「縮小」の動きが顕著。大手企業決算発表や見通し、修正などを注視しているが、あらゆる業界にこの傾向があり、今は成り行きを静観するしかないと考えている。	製造業	工業用プラスチック製品加工業
	ここ数年、商圏のリフォームの受注が減少傾向にある。コア事業が下火になってきているのに加え、人件費・仕入れ等の値上げでダメージを受けている。価格転嫁も簡単にいかずに苦戦中。	建設業	建築リフォーム工事業
	仕入れにまつわるコストが全て増加しているが、販売代金に転嫁できていない。既存商品及び既存販売先だけではかなり厳しい状況にある為、一手を打ちたいが追加借入にも二の足を踏む状況。	卸売業	野菜卸売業
	依然、原料高騰が続いており、先行き不透明。米不足の影響で主食代替として商品の売上維持・上昇を期待したがその傾向は現れず。キャッシュレス決済も増加傾向で入金までのタイムラグが経営を圧迫しつつある。	小売業	パン小売業（製造小売）
	高熱給水費の増加、最低賃金の引上げによる人件費の増加、仕入れ原料価格の高騰などにより経費が圧迫されている。価格転嫁をスムーズに進められるかどうかが、今後の課題と感じている。	ｻｰﾋﾞｽ業	旅館，ホテル

※中小企業景況調査の自由回答(フリーコメント)

項目を選択する方式ではなく、業況判断の背景についての感想や意見を自由に記入する方式であることから、各企業が抱える課題が表れている。